

## 臨床研究に関する情報公開

福島県立医科大学基礎病理学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年4月 福島県立医科大学医学部基礎病理学講座 講座主任 千葉 英樹

【研究課題名】 婦人科癌における核内受容体とそのクロストーク候補分子の発現

【研究期間】 平成29年4月～平成31年3月

【研究の意義・目的】

癌細胞の増殖や分化、浸潤には様々な分子が関与していますが、その一つとして核内受容体が注目されています。核内受容体はホルモンなど外部からのシグナルを受け取ることによって細胞の増殖や分化などを調節する働きを持ちますが、その詳細については不明な点が多くあります。申請者は、核内受容体とシグナルのやり取りをする様々な分子について研究をすすめてきました。本研究では、婦人科癌の細胞における核内受容体とそれに関連した分子の発現が、患者様の予後にどのような影響を与えるか検討することを目的としています。

【研究の方法】

- 対象者は、福島県立医科大学において、子宮及び卵巣の漿液性腺癌、類内膜腺癌、明細胞癌と、粘液性腺癌に対する手術治療を施行された患者様のうち、本研究への同意が得られた方100名程度と、1995年1月から2015年9月の間に上記疾患で手術を施行された患者様300名程度です。

・ <研究方法>

採取した組織は液体窒素にて凍結させます。クライオスタットにて凍結切片を作製し、免疫染色により分子の発現を検討します。またパラフィン切片を用いた免疫染色を行い、分子の発現を検討します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	基礎病理学講座	教授	千葉	英樹
主任研究者	基礎病理学講座	学内講師	杉本	幸太郎
研究分担者	基礎病理学講座	講師	富川	直樹
	基礎病理学講座	助教	齋藤	明
	産科婦人科学講座	教授	藤森	敬也
	産科婦人科学講座	講師	添田	周
	産科婦人科学講座	助手	小島	学
	病理病態診断学講座	教授	橋本	優子

【人体から採取された試料等の利用について】

本研究は、子宮癌および卵巣癌において核内受容体とその関連分子が患者様の予後にどのような影響を与えるか検討すること目的としています。試料については、全て匿名化し、利用します。

【他の機関等への試料等の提供について】

該当無し。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部基礎病理学講座 担当 杉本 幸太郎

電話:024-547-1169 FAX: 024-548-7151

E-mail:sugikota@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp